



やしろ

矢代小学校だより
平成23年度 第1号
5月20日

山々の残雪の白さと木々の緑が美しい季節となりました。新しい年度を迎え、学校生活も軌道に乗り、校舎に子どもたちの元気な声が響いています。

さて、学校では5月11日から、あいさつ運動に取り組んでいます。児童会の代表委員会で提案された「あいさつ門」を体育館の入り口に設置し、そこを通る子どもたちに元気なあいさつを交わしています。「おはよう」と言い合う姿を見ると、心が明るくなります。何より自分たちでアイデアを出し合い、あいさつ運動を盛り上げようとする意欲が素晴らしいと思います。「おはよう！」と声を掛け合う子ども達の姿に、学校生活をよりよくしたいという意欲を感じる朝の一コマでした。



こんな矢代っ子をめざします！



【教育目標】

思いやる子

互いのよさを尊重し、協力してやり遂げる

学ぶ子

自分のめあてをもって、粘り強く学習する

元気な子

運動と健康の大切さを知り、自ら気力と体力を高める

今年度で創立137年目を迎えた歴史ある矢代小学校。今までの伝統を踏まえつつ、これからの社会を担う子どもたちの教育を進めていきます。

まず、自分のよさを積極的に発揮できる子どもの育成を目指します。当校の子どもたちは、熱心に学習に取り組むよさがあります。その結果、学力も体力も全国や県の平均と比べて高く、意欲的に学校生活を過ごしています。

この力を生かし、自分の考えや想いを積極的に他者に伝えようとする子どもを育てたいと考えます。「話す」「インタビューする」「説得する」「言い方を工夫する」「資料を用いる」など、「伝える」にはたくさんの形態がありますが、日々の授業や学校行事等を通して育てて生きたいと考えます。その過程が、まさに「思いやる子」「学ぶ子」「元気な子」の実践の場となるのではないのでしょうか。皆様のご理解とご支援をお願いします。



佐渡に行ってきました！

5月12・13日



この女性は、たらい舟で
19時間かけて柏崎まで
行ったそうです。



たらい船、シガッタに乗ったよ！

小木港で佐渡名物「たらい舟」に挑戦。また、加茂湖ではシガッタを体験しました。初めてなのに、子どもたちはすぐ上手に。

イカ裂き、無名異焼きに挑戦！

イカを包丁でさばいて干物したり、佐渡鉱山の土を原料にした無名異焼きに挑戦したりしました。エプロンをつけ、万全の体制で臨み、世界で1つの出来栄えに大満足の様子でした！



「鼓動」を体験中！

「しんちゃん」に太鼓の楽しみ方を教えてもらいました。夢中で太鼓をたたき、汗だく！



体験するたびに成長するのが子どもです。なかなか体験できない海にかかわる活動に、始めはびっくりしていましたが、次第に没頭していききました。普段は静かな子も、目を輝かせて活動し、佐渡の人々と話しました。それくらい子どもを本気にさせる体験が盛りだくさんだった一泊二日の修学旅行でした。この活動を通して身につけた自信や築いた仲間との信頼を、ぜひこれからの学校生活で発揮してくれることを願っています。がんばれ！矢代っ子！